

労働安全を忘れるな!

2014年3月

事故について

最近Beaconの一読者から事故報告が寄せられ、彼はそれがBeacon向きの話題になるかもしれないと考えた。施設内ではアクセサリーを身につけることを禁ずる安全規則があった。ある作業員が指輪をつけていて、トラックから降りようとしたとき指輪が何かに引っかかり、小指を切断してしまった。

怪我は深刻で彼のその後の人生に影響を及ぼすだろうが、プロセスに関連していないのでこの事故はBeaconの典型的な例ではない。しかしながらこの事故は、プロセス安全や労働安全を含む全ての安全に注意を払わなければならないことを我々に気付かせてくれる。人は、高所から落下したり、階段から転げ落ちたり、鋭利なもので傷ついたり、落下物に当たったりするなど施設内のプロセス技術と無関係の色々なタイプの事故に遭遇する。こうした人たちも、プロセスに関連した事故で怪我をする人と同様に傷つき、影響を受ける。

Beaconはプロセスに関連する事故に的を絞っているが、労働安全も大切であることを忘れてはならない。安全な職場とするために、我々はプロセス安全と労働安全の両方に有効なプログラムを必要としている。

写真は上述の事故に特にふさわしい写真である。ハロルド・ロイドは、4年も前に撮影中の事故で親指と指の一部を失くしながら、この不朽の映画ではほとんどの離れ業を彼自らが演じている!



1923年の無声喜劇映画“要心無用”の有名なシーンでハロルド・ロイドはロサンジェルス通りの上でぶら下がっている。

知っていますか?

- ➔労働安全は、人身災害を最小にすることを目的とした作業システムによって事故防止することに焦点をあてている。
- ➔プロセス安全は、火災や爆発、危険な物質の放出、その他の製造プロセスの化学的、物理的事象に関連する潜在的な重大事故を防止し、軽減することに焦点を当てている。
- ➔プロセス安全に係わる事故は大規模になる可能性があり、環境や物的損失はもちろん多くの人々に悪影響を及ぼす。大きなプロセス事故では、往々にしてプラントの外の地域社会にも影響を及ぼす。
- ➔なかには、労働安全とプロセス安全の両方の特徴を有する事故もある。例えば高温の引火性の物質が入っている配管を開放すれば、作業中の配管工がその物質にさらされ負傷するだけでなく、火災や爆発を起こす可能性もある。

あなたに出来ることは?

- ➔安全な職場であるためには、施設内の各人が、プロセス安全と労働安全の両方に注意を払わねばならないことを決して忘れないこと。
- ➔安全文化や心構え、運転規律、安全作業慣行、その他の優れた安全プログラムの要素が、プロセス安全と労働安全を達成するのに不可欠であることを認識すること。
- ➔プラントのプロセス安全及び労働安全のプログラムを理解し、両方をうまく遂行するための自分の役割を理解すること。
- ➔自分のプラントの安全活動全てに積極的に参加し、同僚にも同様に参加するよう促すこと。

労働安全とプロセス安全 – どちらも必要!

AIChE © 2014. 不許複製。非営利的な教育目的のための複製は奨励する。但し、再販目的のための複製は、CCPS以外の全ての者に対して禁止する。コンタクト先: ccps_beacon@aiiche.org 又は 646-495-1371